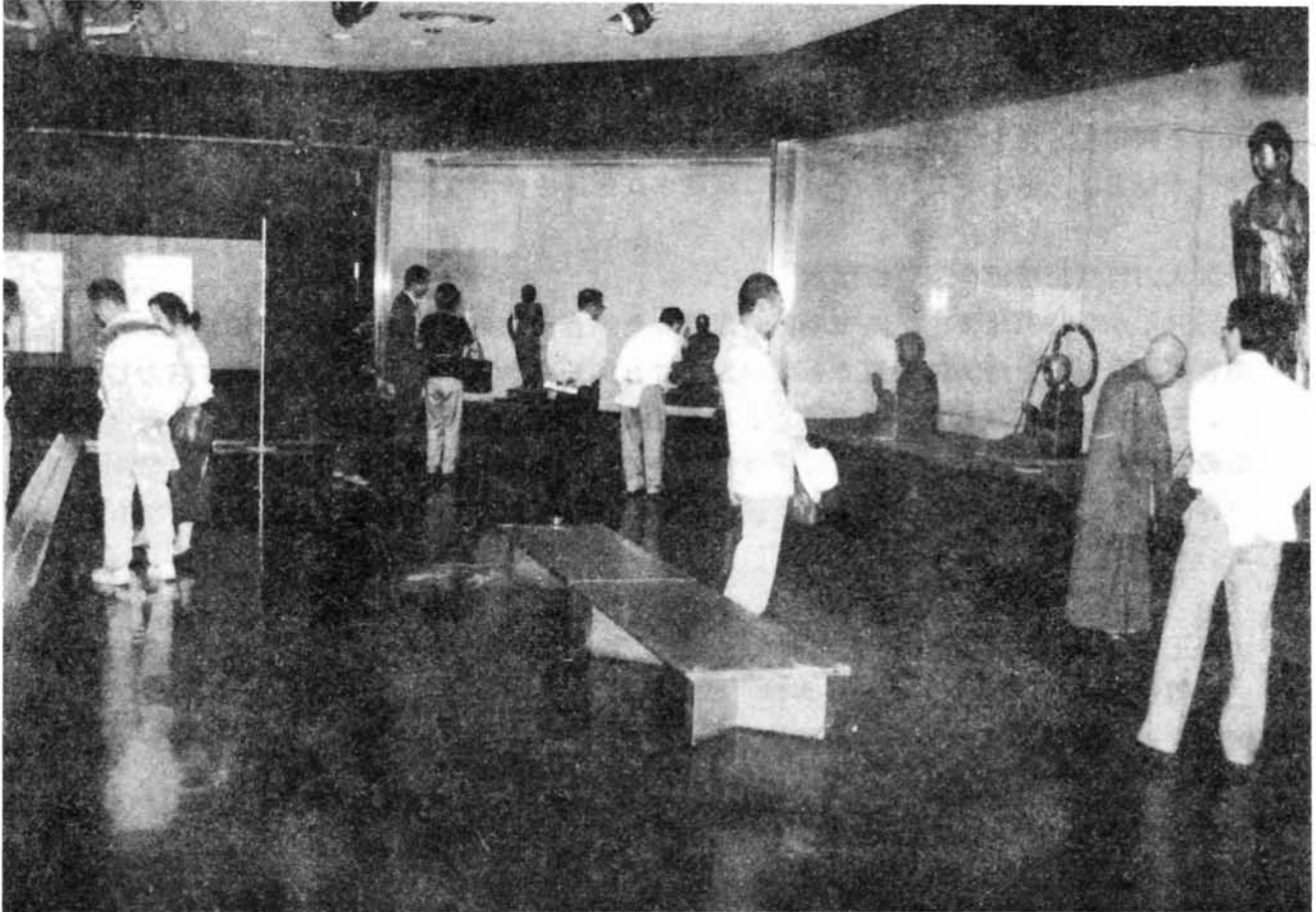




あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'98 11月号



『平塚の仏像展』を終えて

平塚の仏像をテーマに特別展を開催するのは、今回で2回目になります。前回は、平成元年に開催いたしましたので、およそ十年ぶりの開催でした。今回も前回同様、市民の皆様方にはご好評をえることができました。特に今回は、平成6年11月に盗難に遭い無事に戻った国指定重要文化財で下吉沢八剣神社の不動明王立像をはじめ、平塚市指定重要文化財で上平塚薬師堂の薬師如来立像や平等寺の薬師如来坐像、その他、九軀のお像を所蔵各寺院のご協力により借用し展示することができました。

10月10日から25日までの14日間という短い期間でしたが、10月21日(水)に特別展関連事業「鎌倉の仏像を訪ねて」を実施しました。定員25名に対し60名を超える市民の皆様方の応募があり、29名の参加のもと神奈川県立博物館主任学芸員薄井和男氏の解説で、鎌倉国宝館、教恩寺、来迎寺を訪ね、県指定の重要文化財を拝観・解説していただきました。

今後も機会をとらえこうした企画を考えてまいりたいと思います。

新しく収蔵された昆虫標本

会期：11月1日（日）～11月29日（日）

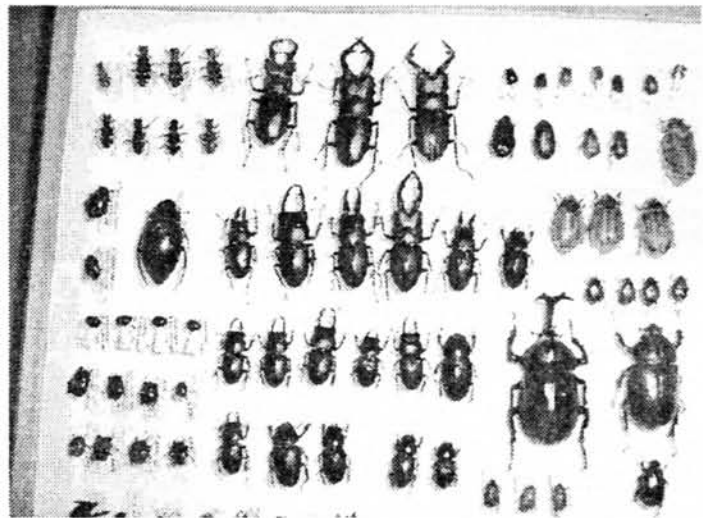
博物館には、毎月のように新しい標本が収蔵されていきます。市民の方から寄贈される場合もあり、調査活動の中で収集される場合もあります。いずれの場合にも、標本には採集地や採集時期についての情報をラベルとしてつけ、時には専門家の助けも借りて正確な種名を同定し、博物館資料としての登録を行うという作業を行っています。11月の寄贈品コーナーでは、さまざまな形で、館に収蔵された昆虫標本を紹介します。

丹沢大山自然環境総合調査の標本

1994年から1997年まで、県環境部の組織した調査団によって丹沢の自然についての総合調査が行われました。博物館でもこの調査に参加し、鳥類や昆虫の情報収集に協力しました。その折りに採集した昆虫標本が、県の生命の星・地球博物館で同定を受け、報告書に掲載される過程を経て、博物館に戻ってきました。これらの標本は、それぞれのグループの専門家の目を通してあるので、今後の館蔵資料の整理の上でも基準となる重要なものです。

大類正久コレクション

小田原市在住の大類正久氏から寄贈して頂いた昆虫標本の一部です。大類氏は長く、伊豆半島で仕事をされ、箱根から伊豆にかけての昆虫類・ザトウムシ類・陸貝類・モグラ類などの分布を精力的に調べてこられました。昨年から今年にかけて、当館に昆虫標本と、キセルガイ類・マイマイ類など陸貝の標本を多く寄贈して頂きました。



酒井春彦コレクション

大井町在住の酒井春彦氏から寄贈して頂いたアリ類のコレクションです。酒井氏は長年、アリ類の生態の研究を行ってこられ、博物館の行事でも指導を頂いたことがあります。アリ類のコレクションは、氏の研究成果の一部を寄贈して頂いたもので、今後も新しい種類を追加して頂けるとのことでした。

スズメバチの巣のいろいろ

市民の方々から寄贈して頂いた、スズメバチの巣を紹介しました。光沢があるように見えるのは、保存性を高めるために、木工用のボンドを吹き付けてあるためです。

しし座流星群を見よう

しし座流星群は毎年11月17～18日ころに見られる流星群ですが、33年おきくらいに流星数が大幅に増え、時には流星雨という派手な現象にまで至ることがあります。今年・来年はちょうどその出現の周期に当たり、注目されます。

●しし座流星群について

流れ星は、宇宙に浮かぶ小さなちりが地球に衝突して発光する現象です。流星群の場合は、周期的に太陽に接近する彗星が過去にまきちらした、たくさんのちりがもとになります。しし座流星群は、彗星周辺にちりが密集した部分があり、これが彗星とともに33年周期でやってきて、流星数が増すものと考えられます。

今年その流星が最も多くなるのは、11月18日の明け方と予想されています。

●流星を見るには

流星を見るには、望遠鏡などの道具はいりません。また、流星は空のあちこちに現れますので、天体を探す時のような専門知識もとくに必要ありません。星空と、眺める時間があればよいのです。ポイントを挙げるならば、時間と場所を選ぶということでしょう。

●観察場所を選ぶ

流星に限らず、星は暗い場所ほどたくさん見えます。市街地など明るい場所では、暗い星が夜空の明るさの中に埋もれてしまい、見えないのです。流星も市街地では明るいものだけが見えます。また、観察中に明るい光を見てしまうと、目が明るさにあわせて瞳孔を絞るため、星など暗いものがしばらく見えません。まとめると「空が暗く、見上げる時まぶしい光がない場所がよい」ということになります。また「たくさんの流星が

現れた」ということを味わうには空が開けた場所を選ぶとよいでしょう。

しし座流星群は明るい流星が多いという特徴がありますので、市内でもある程度の数の流星は眺められると思います。期待しましょう。

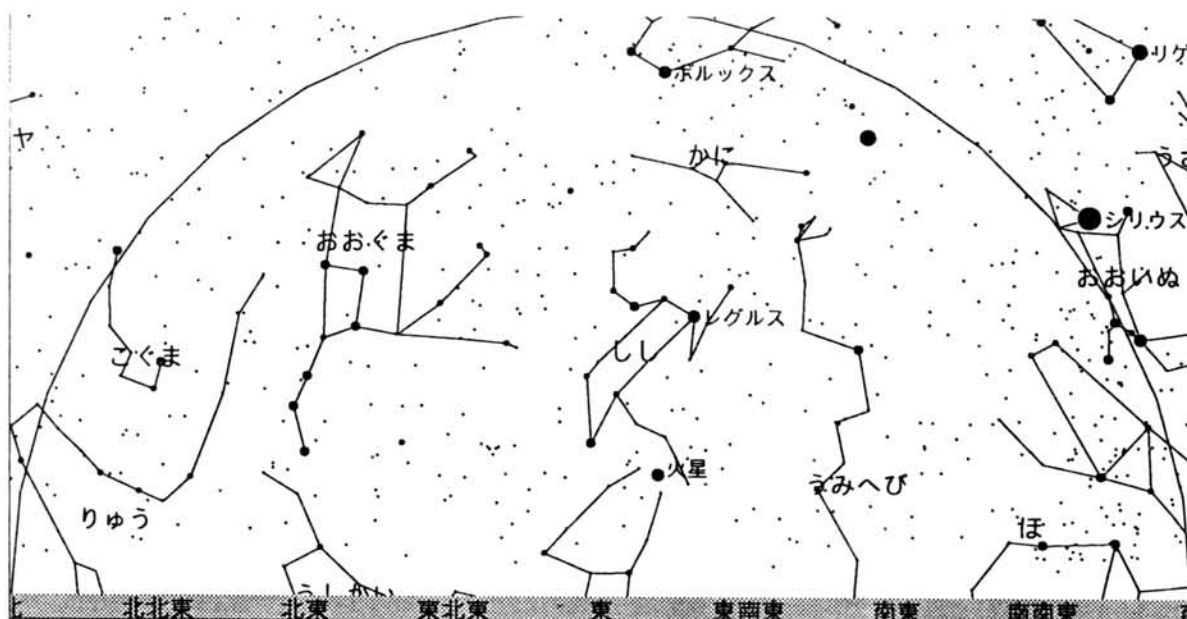
●時間を選ぶ

流星数の増減にはふたつの要素があります。

まず、この流星群は軌道の関係上、「夜半から始まり明け方に向けて数が増え、空が明るくなり始めるとそのせいで減る」という傾向を持っています。一方、これとは別に、流星のちりがいちばんたくさん地球にぶつかるのはいつになるかという問題があります。この両方がたまたま重なると、非常に多くの流星が集中して現れます。しかし後者のほうは何時なのか（その度合も）正確に予報することはできません。日本時間で明け方に重なる4時ころ（ラッキー！）との予想もありますが、日食予報のような確実さではありません。

「観察は夜中1時から5時、とくに4時～5時が条件がよい」といったところでしょう。

下:11月18日3時 東の星空(StellaNavigator for Win95による)
群の流星は、流れる向きが放射状になる特徴を持つ。流星の出現位置は決まっておらず、空のあちこちに現れるので、見やすいところを眺めよう。



博物館カレンダー

11月の行事予定

1	日	◎	民俗探訪会「寛文の道祖神探訪」 寄贈品コーナー「新しく寄贈された昆虫標本」 (~29日)	中井町 展示室
6	金		古文書講読会	講堂
7	土		考古学講座	講堂
8	日		自然観察会「ノギクを探そう」 地質調査会	土屋 野外
12	木		石仏を調べる会	特研究室
13	金		古文書講読会	講堂
14	土	◎	漂着物を拾う会 地質調査会 ◎プラネタリウム「しし座流星群の見方」 天体観察会「流星観察の準備」	海岸 特研究室 プラネ 科学室
15	日	○ ◎ ◎	体験学習「わらそうりを作ろう」 プラネタリウム「流星群の見方」 ろばたばなし 古代遺跡を探す会	館内 プラネ 展示室 野外
18	水		裏打ちの会 地質調査会	科学室 特研究室
20	金		古文書講読会	講堂
21	土	◎	考古学講座 プラネタリウム「ミラ型と呼ばれる星たち」 (~1月10日) 平塚の空襲と戦災を記録する会	講堂 プラネ 科学室 特研究室
22	日		相模川の生い立ちを探る会	箱根
26	木		石仏を調べる会	特研究室
27	金	◎	古文書講読会 星を見る会「秋の月」	講堂 屋上

◎は参加自由 ○は申し込み制 他は会員制

12月の行事予定

1	火	◎	寄贈品コーナー「脊椎動物の骨と化石展」(~27日)	展示室
4	金		古文書講読会	講堂
6	日		民俗探訪会「渋沢丘陵を歩く」 地質調査会	秦野市 特研究室
10	木		石仏を調べる会	特研究室
11	金		古文書講読会	講堂
12	土	○	こども観察会「落葉の下の虫達」 地質調査会 天体観察会「ふたご座流星群」	高麗山 野外 月光天
13	日		天体観察会「ふたご座流星群」	月光天
16	水		裏打ちの会 地質調査会	科学室 特研究室
18	金	◎	古文書講読会 星を見る会「冬の惑星を見よう」	講堂 屋上
19	土		平塚の空襲と戦災を記録する会	特研究室
20	日	○ ◎	体験学習「お飾りを作ろう」 ろばたばなし 相模川の生い立ちを探る会	講堂 展示室 陣馬山
25	金		古文書講読会	講堂
27	日		古代遺跡を探す会	野外

参加者募集

●体験学習「わらそうりを作ろう」
昔懐かしい藁そうりを作って履いてみませんか。
日時：11月15日(日)午前10時~午後4時
場所：博物館
講師：久永弥三郎さん
定員：30名
申込：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「わらそうりを作ろう」係へ
×切：11月8日(日)

●こども観察会「落ち葉の下の虫たち」
落ち葉を食べる小動物を観察します。
日時：12月12日(日)午後1時~4時30分
場所：大磯町高麗山
対象：小中学生及びその保護者に限る
定員：30名
申込：往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、博物館「こども観察会」係へ
×切：11月30日

●ろばたばなし
昔話と相模地方の伝説をお話します。
演目：須賀のかめ(平塚市)、小判の虫干し(長野県)、雨蛙の親不孝(岐阜県)、牛方とやまんば(岩手県)
期日：11月15日(日)
時間：午前10時30分と11時の2回
場所：博物館1階展示室民家内 参加：自由

●星を見る会「秋の月を見よう」
日時：11月27日(金)午後7時~8時30分
場所：博物館屋上(1階科学教室へ集合)
参加：自由 *曇天時中止

●寄贈品コーナー
「新しく寄贈された昆虫標本」
大類正久氏からの寄贈標本、大阪市立自然史博物館との交換標本、丹沢総合調査・環境庁身近な生き物調査などによって収集された標本など、新しく博物館の収蔵室に入った昆虫標本を紹介します。
会期：11月1日(日)~29日(日)
●プラネタリウム
「注目!しし座流星群」
期間：9月12日(土)~11月8日(日)
「ミラ型と呼ばれる星たち」
期間：11月21日(土)~1月10日(日)
投影日時：土日曜日の11時と14時
観覧料：100円
★特別投影「しし座流星群の見方」
11月18日未明に見られるしし座流星群について、観察の仕方などを説明します。
期日：11月14日(土)、15日(日)
時間：11時と14時の2回 観覧料：100円

●漂着物を拾う会
海岸へ流れ着いた生物や人工物を拾って調べます
日時：11月14日(土)午前9時30分~11時
集合：花水川橋平塚側たもと記念碑前
参加：自由 *雨天時中止

あなたと博物館 23巻8号 通巻262号 発行 平塚市博物館 3000
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel.0463-33-5111 Fax.31-3949